

外国語学部 英米学科 教育における三つの方針

学位授与方針 [学士 (英米学)]

■ 知識・理解

- 人間と「自然・環境」「思想・文化」「地域社会」「国際社会」「歴史」との関係性の総合的な理解、環境問題に関する正しい知識など、21世紀の市民として必要な教養を身につけている。【総合的知識・理解】
- 高度な英語運用に必要な専門的知識と、英米及び英語圏の文化・社会の諸問題についての専門的知識を身につけている。【専門分野の知識・理解】

■ 技能

- 英語の論理構造を正しく理解し、英語による情報の収集や分析・研究を行い、それを英語で発信することができる。【専門分野のスキル】
- 情報社会における情報及び情報システム、インターネットの特性を理解し、それらを活用する技能を身につけている。【情報活用能力】
- 自然現象や社会的現象に関する量的調査の基本的な考え方と分析技法を身につけている。【数量的スキル】
- 英語の読み・書きが正確にでき、英米及び英語圏の人たちと正確にコミュニケーションを行うことができる。【英語力】
- 英語以外の外国語、とりわけアジアの言語に関して、基礎レベルのコミュニケーション能力を身につけている。【その他言語力】

■ 思考・判断・表現

- 物事をグローバルな視野から多面的に考え、英語を通して得られる情報や知識を駆使し、現実社会の諸問題を学際的、複眼的に思考し、解決策を探求することができる。【課題発見・分析・解決力】
- 専門的知識を応用しながら、日本語のみならず英語で自分の意見を明晰に表現することができる。【プレゼンテーション力】

■ 関心・意欲・態度

- 英語を駆使して、日本と違った価値観や伝統、制度を持った異文化に積極的に関わっていく態度を身につけている。【実践力 (チャレンジ力)】
- 自分自身で心身の健康の保持増進を行うことができる。【自己管理能力1】
- 「人間全般」や自分自身についての省察を深め、自らの持つ可能性を見出し、将来のキャリア構築に向けて積極的・主体的に準備行動ができる。【自己管理能力2】
- 広い視野を有する国際人として、市民としてふさわしい良識と倫理感を有し、主体的に行動することができる。【市民としての社会的責任・倫理観】
- 卒業後も、英語や異文化への高い関心と、生涯にわたり学ぼうとする高い意欲をもち続けることができる。【生涯学習力】
- 組織や集団全体を見渡す広い視野を持ち、かつ自らの見解を積極的に提案し、コミュニケーション力を発揮し共同の目標に向けた活動を推進することができる。【コミュニケーション力】

教育課程編成・実施方針

英米学科では、教育目標を達成するため、以下の方針に基づき、教育課程を編成し実施する。

- 「基盤教育科目」から40単位以上、「専門教育科目」から84単位以上修得する。
- 「基盤教育科目」は、卒業後の生き方や社会での活躍を支える人間性・主体性・社会性の育成を目的とする科目群とする。「教養教育科目」から8単位以上、「情報教育科目」から2単位以上、「外国語教育科目」から8単位以上を修得する。(詳細は別記)
- 「専門教育科目」は、英語の実践的な運用能力を高め、英米および英語圏における文化、社会の諸問題について専門的な知識を習得することを目的として、「演習・スキル科目」「演習・研究科目」「ゼミ・卒業課題科目」「選択科目」の4つの科目群で構成する。英語と英米および英語圏の専門的知識と専門的スキル、課題発見・解決力、プレゼンテーション力、実践的コミュニケーション力、社会的責任・倫理感、コミュニケーション力、生涯学習力を段階的に習得できるよう、順次性に配慮して科目を配置する。各科目群の内容は以下の通りとする。
 - 演習・スキル科目
 - 1年次から4年次までの積み上げ方式の学習を保障する中核科目群である。実践的コミュニケーション力を高め、3・4年次で学ぶ「ゼミ・卒業課題科目」の基礎を作り、また相互に強化していく。受信能力を養成する科目、発

信能力を養成する科目、受信能力と発信能力をともに養成する科目を、順次性に配慮し1年次から配置する。すべて必修であり、32単位を修得する。

□ ゼミ・卒業課題科目

「演習・スキル科目」と並ぶ中核科目群であり、3年次・4年次に配置されており、積み上げ方式の学習を保証する。課題発見・解決力とプレゼンテーション力を高め、生涯学習と繋いでいく。すべて必修であり、16単位を修得する。

□ 演習・研究科目

「ビジネス・コミュニケーション科目群」「英語学・英語教育科目群」「英米研究・メディア科目群」の3科目群で構成する。1年次から3年次に配置され、専門的知識と専門スキルを深めるために、「演習・スキル科目」と「ゼミ・卒業課題科目」を補いさらに充実したものにしている。

「ビジネス・コミュニケーション科目群」では、英語での実践的なコミュニケーション関連の科目を学習する。

「英語学・英語教育科目群」では、英語学と英語教育関連の科目を学習する。

「英米研究・メディア科目群」では、英米研究と英語メディア関連の科目を学習する。

各科目群から2単位以上、全体で22単位以上を修得する。

□ 選択科目

「法経科目群」「英米文学・文化科目群」「中国ビジネス科目群」の3科目群で構成する。2年次・3年次に配置され、「演習・スキル科目」「ゼミ・卒業課題科目」「演習・研究科目」を補完するものである。

「法経科目群」では、国際法と経済関連の科目を学習し、この分野での専門的知識を高める。

「英米文学・文化科目群」では、英米の文学と文化関連の科目を学習し、この分野での専門的知識を高める。

「中国ビジネス科目群」では、中国語と中国関連の科目を学習し、中国語の能力と専門的知識を高める。

いずれかの科目群から14単位以上を修得する。

入学者受入れ方針

英米学科では、次のような学生を求めています。

- 高度な英語運用能力と、英米および英語圏の文化・社会の諸問題についての専門的知識を兼ね備えたいという意欲があり、国際社会での活躍を目指す学生